シラバス参照

タイトル「**2022年度スポーツ科学部(公開用)**」、フォルダ「**（共通）**」
シラバスの詳細は以下となります。

戻る

科目ナンバー	RMGT/SSCS1703		
科目名	英語Ⅲ		
担当教員	田中　竹史		
対象学年	1年	開講学期	後期
曜日・時限	月４		
講義室	1205	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	1
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	7 語学		
科目の位置付け（開発能力）	■ＤＰコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 ＤＰ１－Ｄ　〔市民的素養・市民的教養〕　市民的素養と参加コミュニティに積極的な変化をもたらすために、知識・スキル・価値観・動機を動員することができる。 ＤＰ２－Ａ　〔日本の精神文化を理解し多様な価値観を受容する姿勢〕　地球的視点で物事を多面的に捉え、異文化との交流の重要性を認識するとともに、異文化との交流を積極的かつ多面的に行い、相互理解を促進し互恵関係を構築することができる。 ＤＰ４－Ｉ　〔理解力・分析力〕　文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 ＤＰ６－Ｋ　〔表現力・対話力〕　文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 ■ＣＲコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（ＣＰ）との関連 Ｄ１　市民的素養と参加　（１０％） Ａ１　グローバル感覚　（５％） Ａ２　異文化適応　（５％） Ｉ１　理解・分析と読解　（６０％） Ｋ１　ライティング・コミュニケーション（１０％） Ｋ２　オーラル・コミュニケーション　（１０％）		
教員の実務経験	―		
成績ターゲット区分	■能力開発の目標ステージとの対応 ※クラスによって、目標となるステージが異なります。 3 発展期～4 定着期 2 進行期～3 発展期 1 萌芽期～2 進行期		
科目概要・キーワード	英語Ｉで学修した内容を基に、読解力の強化を目的とします。既習の文法項目の整理・確認を行いながら、様々な英文読解の実践を行います。授業は習熟度別クラス編成で実施され、学修の目標設定と到達度確認には TOEIC Bridge L&R IP テストが利用されます。授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。 （キーワード）　リーディング、文法、語彙		
授業の趣旨	■副題　Reading Comprehension ■授業の目的　E-mail、blog、articleといった実用的なものからacademic readingに至る幅広い英文を読み、その大意や細かい情報を前学期以上により素早く読み取る力を向上させること		

	を目的とします。また、日本語からでは理解できない異文化、世界の動向を知るために、英語そのもので捉えられるようにします。最終的に、文章の内容に関して、ペアワークやグループワークを通じて、自分の意見を英語で伝える訓練も行います。 ■授業のポイント　大学教育およびキャリア教育に英語を活用できるように、実践練習を通じて英文読解力を養います。
総合到達目標	■ 一般目標 (GIO) グローバルな視点を養うために、基礎的な文法・語彙を身に付けるとともに、情報を読み取る方法を実践し、英文読解力を修得する。海外での生活に適応できるために、学修した文法・語彙を用いて、自分の要望などを伝える力を修得する。 ■ 個別行動目標 (SBOs) ・ターゲットとなるgrammarの使い方と、そのgrammarが日常生活においてどのような場面で使用されるかを説明することができる。 (第2, 4, 6, 8, 9, 11, 13, 15回) ・英文の読み方に関するスキルを使って、様々な文章を正しく読み、必要な情報を読み取ることができる。(第3, 5, 7, 8, 10, 12, 13, 14, 15回) ・読み取った情報をもとに、クラスメイトにその大意を説明することができる。(第3, 5, 7, 8, 10, 12, 13, 14, 15回) ・学修したgrammarを使って、様々な事柄を自分の言葉で表現することができる。(第2-14回) ・ターゲットとなるgrammarを使って、自分の意見を述べることができる。(第1-15回)
成績評価方法	（成績評価手段） ■授業内試験（３０％）：適用ルーブリック：D1、A1、A2、I1、K1、K2 （評価の観点）当該単元の理解度を測ります。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■授業参画度（３０％）：適用ルーブリック：D1、A1、A2、I1、K1、K2 （評価の観点）協力的かつ積極的にアクティビティに参加しているかどうかを評価します。 （フィードバック方法）主に授業内で適宜フィードバックを行います。 ■課題（２０％）：適用ルーブリック：I1、K1、K2 （評価の観点）当該単元で設定されているゴールの達成度合いを図ります。 （フィードバック方法）主に授業内で適宜フィードバックを行います。 ■TOEIC Bridge L＆R IP テスト（２０％）：適用ルーブリック：D1、A1、A2、I1、K1、K2 （評価の観点）TOEIC Bridge L＆R IP テストのスコアを評価します。 （フィードバック方法）学生は受験後に獲得スコアを確認できます。
履修条件	英語Ⅰ・Ⅱを履修していること。指定クラスで受講すること。
履修上の注意点	1. レッスントピックやマテリアルはクラスのレベルと授業の進度により変更になる場合があります。詳細は授業内でお知らせします。 2. 必ず新しいテキストを購入してください。また、テキストは毎回の授業に必ず持参すること。 3. 授業中のスマートフォンの使用は単語や英語表現を調べることに限り可とします。ただし明らかに授業と関係のないサイトを閲覧、メッセージのやり取りを行うなど授業の聴講を妨げる行為については厳重注意を行い、減点評価とします。これはパソコンの使用についても同じです。 4. 宿題、課題は必ず期限内に実施すること。 5. 授業を欠席あるいは遅刻をした場合、宿題・課題等の確認は自分自身で責任を持って行うこと。欠席、遅刻は宿題・課題を完了できなかった理由にはなりません。 6. 公欠の場合は、事前に教員に連絡すること。事後は認めません。 7. 授業は学生主体で行われるため、間違いを恐れずに積極的に参加すること。
授業内容	

回	内容
1	①授業テーマ　Course Introduction / Review previous semester Units ②授業概要　本講座で学修する内容を説明することができる。前学期で学修した内容に基づいて、夏休みの出来事を説明することができる。(D1, I1, K1, K2) ③予習（３０分）　前学期に扱ったUnit 1～Unit 5の箇所を見直しておくこと。 ④復習（６０分）　前学期の内容で忘れていた語彙や文法について、改めてノートにまとめなおすこと。
2	①授業テーマ　Grammar - verb (simple past) (Unit 6) ②授業概要　verb (simple past) を使って、過去の出来事を正確に表現することができる。(I1, K1, K2) ③予習（６０分）　WorkbookのUnit 6でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。

		④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	3	①授業テーマ　Identify Comparison and Contrast (Unit 6) ②授業概要　ある2つの項目について、共通点と相違点が何かを説明することができる。(D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　Unit 6、Lesson 4でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	4	①授業テーマ　Grammar - wh-questions&can/could for requests (Unit 7) ②授業概要　wh-questionsやcan/couldを使って、必要なことを尋ねることができる。(I1, K1, K2) ③予習（６０分）　WorkbookのUnit 7でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	5	①授業テーマ　Context Clues (Unit 7) ②授業概要　馴染みのない単語の意味を予想しながら、その英文の内容を説明することができる。(D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　Unit 7、Lesson 4でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	6	①授業テーマ　Grammar - infinitives (Unit 8) ②授業概要　infinitiveを使って、自分の要求を伝えることができる。(I1, K1, K2) ③予習（６０分）　WorkbookのUnit 8でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	7	①授業テーマ　Identify Cause and Effect (Unit 8) ②授業概要　文章内の因果関係を理解した上で、英文の内容を説明することができる。(D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　Unit 8、Lesson 4でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	8	①授業テーマ　Review - Unit 6-8 ②授業概要　これまで説明した英文の読み方を使って、問題演習を行い、その解法をクラスメイトに説明することができる。(D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　これまでの授業で学修した語彙や文法をテキストとノートを使って見直しておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	9	①授業テーマ　Grammar - pronoun (Unit 9) ②授業概要　文章中に箇所なpronounを用いて、正確な英文を作成することができる。(I1, K1, K2) ③予習（６０分）　WorkbookのUnit 9でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	10	①授業テーマ　Find Supporting Evidence (Unit 9) ②授業概要　筆者の意見を補強するexample/factが何かを説明することができる。(D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　Unit 9、Lesson 4でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	11	①授業テーマ　Grammar - verb (simple past vs. present perfect) (Unit 10) ②授業概要　simple pastとpresent perfectの違いを説明できるようになる。(I1, K1, K2) ③予習（６０分）　WorkbookのUnit 10でわからない単語を調べてノートにまとめてお

		くこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	12	①授業テーマ　Make Inferences (Unit 10) ②授業概要　本文の内容を推測しながら、筆者の主張が何かを説明できるようになる。(D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　Unit 10、Lesson 4でわからない単語を調べてノートにまとめておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	13	①授業テーマ　Review - Unit 9-10 ②授業概要　これまで説明した英文の読み方を使って、問題演習を行い、その解法をクラスメイトに説明することができる。(D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　これまでの授業で学修した語彙や文法をテキストとノートを使って見直しておくこと。 ④復習（６０分）　授業で解けなかった問題について、解けなかった理由をノートにまとめておくこと。
	14	①授業テーマ　Review and Examination ②授業概要　授業で説明した内容に関する問題に取り組み、その問題の解法を説明することができる。(I1, K1, K2) ③予習（６０分）テキストの内容を見直し、不明点やわからない単語を書いて覚えること。 ④復習（６０分）解けなかった問題をピックアップし、解けなかった理由を分析し、ノートにまとめておくこと。
	15	①授業テーマ　Compare and Contrast ②授業概要　これまでに学修したgrammarを使って、自分が好きなことを2つ比較して、その共通点と相違点を英語で説明できるようになる。 (D1, A1, A2, I1, K1, K2) ③予習（６０分）　これまでの授業で学修した語彙や文法をテキストとノートを使って見直しておくこと。 ④復習（６０分）　授業でフィードバックされた内容をノートにまとめておくこと。

関連科目	「英語Ⅰ RMGT/SSCS 1701（1年次前学期配当）」、「英語Ⅱ RMGT/SSCS 1702（1年次前学期配当）」、「英語Ⅳ RMGT/SSCS 1704（1年次後学期配当）」
教科書	※クラスによって使用するテキストが違います。教員の指示に従って、該当するテキストを各自購入すること。 ・Ken Beatty、StartUp 4: Workbook(Latest Edition)、Pearson、2019、ISBN 9780135177488 ・Ken Beatty、StartUp 1: Workbook(Latest Edition)、Pearson、2019、ISBN 9780135177518 ※以下のテキストは、英語II、IVと共通で使用します。こちらもクラスによって使用するテキストが違います。教員の指示に従って、該当するテキストを各自用意すること。 ・Ken Beatty、StartUp 4: Student Book with Mobile App & MyEnglishLab、Pearson、2019、ISBN 9780135178430 ・Ken Beatty、StartUp 1: Student Book with Mobile App & MyEnglishLab、Pearson、2019、ISBN 9780135178461
参考書・参考ＵＲＬ	・石井隆之他、Funny Laws in the World、南雲堂、2015、ISBN 9784523177845 ・坂部俊行他、Sports and English: Communicating with the World、2016、南雲堂、ISBN 9784523178255 ・Joan McConnell 他、Good Reading, Better Grammar、成美堂、2018、ISBN 9784791934188
連絡先・オフィスアワー	質問には、授業前後の時間で対応します。
研究比率	

戻る

Copyright (c) 2016 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.